

令和4年度公共交通事故被害者等支援フォーラムについて

国土交通省では、平成24年4月に公共交通事故被害者等支援室を設置し、公共交通事故により被害に遭われた方への支援を行っています。

このフォーラムは、講師陣による実際の事例等に基づく被害者等への接し方の講義を通して、公共交通事業者の皆様の安全意識の啓発や被害者等支援計画策定の意義について認識を深めていただく目的で、毎年開催しています。

【令和4年度 講演概要】（令和4年12月16日（金）WEB開催）

●多数死傷者発生時における遺族支援について

講師：一般社団法人 日本DMORT

副理事長 村上 典子 氏（神戸赤十字病院心療内科 部長）

公共交通事故の特徴やグリーフケアについて、実際に携わっておられる医師の立場から、わかりやすくご説明いただきました。

●事故をめぐる2.5人称の視点ーJR福知山線事故の事例からー

講師：大阪大学 COデザインセンター

教授 八木 絵香 氏

JR福知山線事故の負傷者の方の会と加害事業者をつなぐ専門家としての実際の活動などをご紹介いただきながら、わかりやすくご説明いただきました。

●被害者とどのように接するか ～事例で学ぶ被害者支援のポイント～

講師：一般社団法人日本産業カウンセラー協会

執行理事 清水 達也 氏

実際に事故が起こった場合を想定したケーススタディーを用いて、演習形式で事業者として心がけるべきことなど、具体的にアドバイスいただきました。

公共交通事業者42社82名の方を始め、関係団体や行政機関の皆様にも視聴いただき、「役に立つ内容だった」「平素からの準備が必要であると感じた」等の感想をいただきました。